

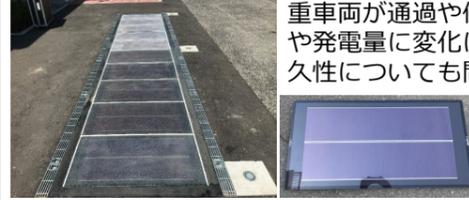
## 日田彦山線BRTにPETアスコン採用

JR九州が2023年夏開業を目指す日田彦山線BRT（バス高速輸送システム）の一部区間で、廃プラスチックを再利用したPETアスコンが採用されました。当工事で再利用される廃PETは500mlペットボトル換算で約10万本に及びます。10月30日には工事予定区間でウォーキングイベントが開かれ、約400人が参加しました。参加者に配布されたペットボトル飲料の容器はゴールで回収され、今回の舗装に使用される予定です。



## 路面埋込式の「太陽光発電舗装」を開発

日本道路株式会社とF-WAVE株式会社は、道路面で発電ができる太陽光発電舗装を共同開発しました。路面に太陽光発電パネルを埋め込むことで、道路を新たな「発電する場所」として有効活用することが可能となります。太陽光発電舗装の表面には、シリカを主成分とするすべり止め加工（すべり抵抗値はBPNで60以上を確保）を施しており、歩行者の安全も確保されています。重車両が通過や停止しても破損や発電量に変化は見られず、耐久性についても問題ありません。



# NICHIDO VIEW

## ハイウェイテクノフェア2022に出展

11月24・25日、高速道路に関する新技術・新工法、資機材および現場支援システム等を一堂に集めた展示会「ハイウェイテクノフェア2022」が開催されました。今回初めて清水建設グループとして、清水建設株式会社、エヌディーリース・システム株式会社と共同で出展しました。日本道路は床版の補修補強工法と舗装工事における環境負荷低減技術を展示しました。



## 2023年度新卒入社の内定式開催

10月3日、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で2023年4月入社予定の新卒社員の内定式を開催しました。内定者のうち、29名の大学・専門学校卒が一堂に会しました。先輩社員を交えて実施した食事会では緊張も解け、積極的な質問が寄せられました。入社まで残すところあと半年を切りましたが、悔いの無いように学生生活を楽しみ尽くしてください！来年4月に元気な姿でお会いできるのを、社員一同楽しみにしています。



## 「複合施設新築工事」紹介コーナーを設置

2029年の創立100周年事業の一環として進行中の複合施設建築工事を紹介するコーナーを、日本道路本社ビル10階「VERDENIA（ヴェルデニア）」に設置しました。工事概要を紹介するパネルと、複合施設の模型を展示しています。ご来社の際は、ぜひ見て、触ってみてください。



## 『NICHIDO VIEW』Vol.4について

今回は「日本道路の製造・販売事業」について特集しました。プラントでは、高速道路や空港等の大型現場、国道等の一般道路、民間のテストコースや工場などの様々な現場へ製品を出荷しています。安全対策、環境対策を強化しており、職員は勿論お客様にも安心してご来場頂ける環境づくりを心がけています。中間処理施設を保有し、リサイクル事業にも力を入れています。2022年2月に日本道路は「エコファースト企業」に認定され、カーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいます。地域への貢献、地球環境に優しいプラントを目指して日々頑張っていますので、お近くにきた際には気軽に立ち寄って頂けると幸いです。

発信力強化ワーキンググループ



Vol. 4

特集 日本道路の製造・販売事業

道の先の「未知」を切り拓く  
NICHIDO 日本道路株式会社

ECO FIRST 環境大臣認定 エコ・ファースト企業  
環境先進企業として 持続可能な地球環境の実現に取り組んでいます

30x30 生物多様性の 30by30アライアンス参加企業  
生物多様性保全に 取り組んでいます

<Webサイトのご案内>  
事業拠点や技術・製品情報、お問合せはこちらまで！  
<https://www.nipponroad.co.jp>



NICHIDO VIEW Vol.4  
発行年 2022年12月  
発行 日本道路株式会社

